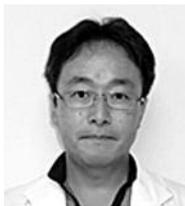


八雲総合病院

新任 医師紹介

7月より八雲総合病院へ赴任された医師を紹介いたします



整形外科医長
よこた まさし
横田 正司

7月より赴任した横田と申します。整形外科を担当します。新設された人工関節センターでは、北大病院との連携で、都市部に行かなくても最新の医療を提供できるよう頑張ります。また、北海道日本ハムファイターズのチームドクターとしての活動も続けています。これまでの経験を生かし、地域の皆さまのお役にたてるよう努めて参りますので、よろしくお願い致します。

がんサロン(茶話会)のお知らせ

【日時】9月14日(木) 午後1時30分～3時

【場所】八雲総合病院南棟5階講堂

【内容】・ミニレクレーション(絵手紙を描こう)
・茶話会(申込不要)

※茶菓子代200円がかかります

【共催】八雲町、八雲総合病院、八雲保健所

【問い合わせ先】

- ・保健福祉課健康推進係 ☎0137-64-2111
- ・八雲総合病院医事課医療連携係 ☎0137-63-2185
- ・八雲保健所企画総務課企画係 ☎0137-63-2168

八雲総合病院

地域医療講演会

参加
無料

～「咳」で悩むお子さんへ～
もしかして「副鼻腔炎？」のお話

【講師】八雲総合病院

まさき
吉田 雅喜 診療部長

【日時】8月30日(水)

午後6時30分(1時間程度)

【場所】はぴあ八雲コミセンホール(1階)

【主催】八雲総合病院(小児科)

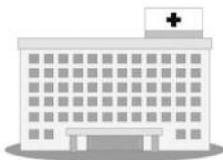
お子さんお孫さんが、「咳」で悩んでいませんか？そんなとき、風邪や小児ぜんそくを疑うのが一般的ですが、悪さの原因は、「副鼻腔炎」であることがしばしば見受けられます。

副鼻腔とは、額の真ん中や鼻の横にある空洞のことで、そこに起こる炎症を「副鼻腔炎」と言います。乳幼児期には副鼻腔が未発達で、風邪などをきっかけに、副鼻腔に細菌やウイルスが入り込みやすく、炎症を起こしてしまいます。副鼻腔炎の症状は、緑色や青色の鼻水がどんどん出る、顔や頭の痛みが代表的ですが、咳を誘発することも特徴です。

乳幼児は、自分の体に起きている変化を上手に大人に伝えられません。副鼻腔炎と咳のお話を通じて、子どもさんの健康についてお話しします。

【問い合わせ先】

八雲総合病院経営企画課 ☎0137-63-2185



ちょっと知ってね！総合病院

～私たちの知識がお役に立てれば嬉しいです！～

少し歩いただけで足がつっぱる。足がやけに冷たいことはありませんか？



臨床検査技師
さとう ちかこ
佐藤 史子

もしかして足の動脈硬化が原因なのかもしれません。動脈硬化とは血管内の壁にコレステロールなどの脂質がついて壁が厚くなったり、弾力性が失われ硬くなった状態のことです。気づかずに放っておくと閉塞性動脈硬化症などの大きな病気につながる可能性があります。

当検査室では、足の動脈硬化の検査を行っています。検査はベッドに寝た状態で、手首に心電図を測る電極と胸に心臓の音を測るマイクを載せて両方の腕と足首の4ヶ所で血圧を測定し、ABI(足関節と上腕の血圧比)とPWV(脈の伝わる速さ)を調べます。検査所要時間は準備を入れて10分～15分です。通常、足首血圧は上腕血圧よりもやや高いのですが、足の動脈が詰まったり、詰まり気味だと血流が悪くなり足首血圧は上腕血圧より低くなります。

～足の症状で思い当たる方はお気軽に当院にご相談ください～